

広々とした「紅葉の三溪園」でゆったり散策

実施月日：令和3年11月26日（金） 快晴

参加人数：15名

幹事：勝山悌治（代表）、小野寺愛子、田辺桂子

写真撮影：佐藤 敬



★旧燈明寺三重塔を背景に「大池」前にて ★三溪記念館の近くにて

今日は風もなく温暖で雲一つない青空、小春日和に恵まれ、ほとんどの人は集合時刻10時30分前に集まり、2年前の秋の行事（横浜税関等3ヶ所の見学）以来の対面の方も含め、みなさん笑顔で歓談、解放感に満ちたひとときであったことと思います。会員15名が揃ったところで、大池のほとりで三重塔を背景に集合写真を撮りました。

その後、ボランティアの方の説明を一班4名、4班編成で次の通り巡回し見学。

鶴翔閣（三溪が住まいとした建物）～御門（京都東山の西方寺の薬医門）～白雲邸（三溪が隠居所として夫人とともに暮らした数寄屋風建築）～臨春閣（紀州徳川家初代藩主頼信の別荘）～月華殿（京都伏見城の大名来場の際の控え所）～天寿院（鎌倉・建長寺近くの心平寺にあった地蔵堂の建物）～聴秋閣（京都・二条城内の家光・春日局ゆかりの楼閣建築）～蓮華院（三溪構想の茶室）～旧燈明寺三重塔（京都木津川市の燈明寺にあった建物、三溪園のシンボルでそこから展望台まで登り、港や、富士山なども見える）～臥竜梅（枝ぶりが横たわる竜に例えられた）～旧東慶寺仏殿（縁切寺の名で知られる鎌倉・東慶寺にあった仏像）～旧矢筈原住宅（飛騨・白川郷にあった合掌造り建物）～旧燈明寺本堂（京都・燈明時から移築、）～三溪記念館（若き芸術家支援や三溪の業績やゆかりの資料・美術品を紹介）で説明を受ける。

特に、ボランティアの方の生き生きとした説明ぶりに、とても感銘を受けました。三溪記念館を出て金田会長のご挨拶の後、12時45分頃に解散となりました。おかげさまで、怪我などなく無事に、さわやかな時間を過ごすことができました。（完）